

WELCOME to MEGURO

東京音楽大学 Tokyo College of Music

CHAMBER MUSIC & ORCHESTRA CONCERT

中目黒・代官山キャンパス開校記念 「室内楽&オーケストラ」 コンサート

2019年12月8日 めぐろパーシモンホール 大ホール



R.シュトラウス / 村田昌己（編曲）

『4つの最後の歌』



R.シュトラウス / R.ゴルドファーデン（編曲）

『ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら』



目黒区・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団・東京音楽大学主催の演奏会が行われた。ギネス級に長い演奏会名だ。しかし真に驚くべきは、その演目。シュトラウス『4つの最後の歌』室内楽版、『ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら』ホルン十重奏版、バルトーク『管弦楽のための協奏曲』、これだけでもう痺れてしまう。しかしプログラムを開いて、豪華な出演者たちに、さらにびっくり。決してポピュラーな演目とは言えないが、多くのお客様が会場を埋めた。

まずは藤田茂本学教授によるプレトークから始まり、青木英二目黒区長・鈴木勝利本学理事長のあいさつが続いた。

本編となる演奏は、どの曲も期待を裏切らなかった。「ブラボー」の声も飛び交った。

音楽普及のため、ポピュラーな演目を取り上げることは、演奏団体にとって大切な役割のひとつ。一方、大学がアカデミックな存在である限り、ポピュラーとは言えないが演奏するに値する曲、めったに採用されない版などを紹介することも、音楽大学の社会的な使命だろう。今回の演奏会は後者に属するが、それでも多くの聴衆はそれを受け入れ、堅苦しいことなど抜きにし、心から演奏を楽しまれたと思う。

初冬の夕暮れ、さわやかな気分になってホールを後にすることができた。

【出演者の声】

横山 恵子 教授（『4つの最後の歌』ソプラノ）

歌とオーケストラが絡むように流れていく難曲。今回は指揮者不在でしたので、皆ワンチームでがんばりました。日頃お話しする機会の少ない楽器の先生方と稽古を通じ、時間を共有できたことも、とても楽しい思い出になりました。

四戸 世紀 教授（『4つの最後の歌』クラリネット）

たいへんむずかしい曲で、指揮者もいませんし何回も練習しました。通好みのプログラムで、お客様が来られるか心配しましたが、杞憂でした。反応もよかったのでうれしく思います。

水野 信行 教授（『ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら』指揮／『4つの最後の歌』ホルン）
今回の「ティル」の楽譜は2年前に手に入れました。いつ演奏することが来るのだろうかと思っていましたが、今回その機会を得られました。演奏は無理というほど、むずかしいです。日本で演奏されたという話はあまり聞いたことがありません。

石崎 真弥奈さん（『管弦楽のための協奏曲』指揮）

学生にとって、バルトーク『管弦楽のための協奏曲』を演奏する機会は、貴重でうれしさを感じると同時に、精神的にも厳しい面があったと思います。夏からの練習の積み重ねが実を結び、よい集中力で、どの本番も迎えられたと感じています。一つひとつの積み重ねが、いかに重要か、確信に繋がったのではないのでしょうか。将来、どの道に進んだとしても、今回の経験は糧になると信じています。

【来場者の声】

『4つの最後の歌』の室内楽版は初めて聴きました。オーケストラ版とは異なったよさがあります。珍しいものを聴かせていただきました。(男性)

世田谷から来ました。このホールの演奏会でチラシを見て、その場でチケットを買いました。ホルン10本のアンサンブルがおもしろかった。またオーケストラの規模も大きいですね。ハープが3本、コントラバスが7本・・・驚きました。また機会があれば聴きたいです。(夫婦)

(やや興奮気味に) 若さのパワーに圧倒されました! 10月の「めぐろ童謡コンサート」が台風で中止になったので、ようやく東京音大の演奏を聴くことができました。大人数のプレイヤーがすべて学生ですか? 驚きです。目黒区民なので、今度は大学のホールで演奏を聴いてみたいです。(女性2名)

(広報課)

プレトーク

藤田 茂 (東京音楽大学 教授 音楽学)

プログラム

R.シュトラウス / 村田昌己 (編曲) 4つの最後の歌

ソプラノ: 横山 恵子

ピアノ: 佐藤 彦太 クラリネット: 四戸 世紀 ホルン: 水野 信行 ヴァイオリン: 福田 麻子、
三宅 音菜 ヴィオラ: 中川 理子 チェロ: 朴 賢娥 コントラバス: 白井 菜々子

R.シュトラウス / R.ゴルトファーン (編曲) ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら

指揮: 水野 信行

ホルン: 福川 伸陽 勝俣 泰 日橋 辰朗 和久田 侑希 藤井 春香
小田原 瑞輝 端山 隆太 西本 葵 深江 和音 有森 日菜子

B.バルトーク 管弦楽のための協奏曲 Sz.116

《アンコール曲》

P.チャイコフスキー「くるみ割り人形」より『ロシアの踊り』

指揮: 石崎 真弥奈

管弦楽: 東京音楽大学シンフォニーオーケストラ